

安全衛生・兵庫

労働災害ゼロを目指して

労働災害をゼロにするためには、安全衛生管理と職場の自主活動とを一体として推進することが重要であり、職員全員が、それぞれの立場、持ち場で労働災害防止活動に参加し、衆知を集めて問題を解決してゆく、明るいいきいきとした職場風土をつくることが基本になります。そのためには、ゼロ災害・人にやさしい活力ある職場づくりを目指し、管理監督者による安全衛生管理の徹底及び職員それぞれの安全衛生先取り自主的活動の活発な展開が必要です。これらを一体とした諸活動の一層の促進を図る必要があります。

基本理念3原則

1 ゼロの原則

単に災害だけがなければよいという考えではなく、職場や山に潜むすべての危険を発見・把握・解決し、根底から労働災害をゼロにしようという考え方です。

2 先取りの原則

究極の目標としてのゼロ災害の職場を実現するために、災害が起こる前に、職場や山にひそむ危険の芽を摘み取り、安全を先取りすることです。

3 参加の原則

職場や山にひそむ危険を発見・把握・解決するために、全員が一致協力してそれぞれの立場・持ち場で自主的・自発的にヤル気で問題解決行動を実践することです。



労働災害が久しく発生していない場合、安全に対する意識が薄れることはあり得ることです。職員の皆さん、今一度初心に返り基本動作を徹底し、災害は絶対に起こさないと決意を新たに、職員全員で声を掛け合ってゼロ災害を継続しましょう。

春の全国交通安全運動

◆運動期間

平成23年5月11日(水)～20日(金)10日間

◆交通事故死ゼロを目指す日

平成23年5月20日(金)

◆運動の趣旨

広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより交通事故防止の徹底を図ることを目的といたします。

◆運動の重点

「子どもと高齢者の交通事故防止」とし、自転車の安全利用の推進、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶を重点とし、普及啓発活動を全国各地で一斉に行います。

また、5月20日は、「交通事故死ゼロを目指す日」です。みなさん一人ひとりが交通安全について考え行動し、悲惨な交通事故を無くしていきましょう。



5月が多い病気・健康管理のポイント

■通年性アレルギー

5月の連休明けにはスギ花粉の飛散も終わります。この時期でも症状が全く改善しない場合は、花粉症よりも通年性アレルギーの可能性も疑った方がよいかもしれません。

■黄砂アレルギー・目のトラブル

黄砂が飛散する地域では肌や目のトラブルに注意が必要です。特に、黄砂による角膜潰瘍。花粉と違って黄砂は固いため、目に入った状態で目を擦ると、角膜を傷つけることがあります。

■五月病(機能性胃腸症・過敏性腸症も含めて)

「五月病」は正式な病名ではありません。一時的な気持ちの落ち込みをどこまで五月病として考えるかは別として、多くの人が通勤や通学にストレスを感じ始める時期のようです。ストレスから、通勤時や大事な会議などの場面で突然トイレに行きたくなってしまったり機能性胃腸症や過敏性腸症になる人も増加します。

5月は風邪やインフルエンザの流行が過ぎ去り、暖かくなる季節。スギ、ヒノキなどの花粉症を始め、新生活が始まることでの五月病や、春の過眠など精神面でのトラブルや不安も抱えやすい時期です。

職員の皆さんそれぞれ自分にあつた健康法・健康管理を見つけ・続けて、健康で明るい職場づくりに努めましょう。



この花なあに？

発行 兵庫森林管理署 安全衛生委員会